

【箕川小学校「確かな学力」グランドデザイン】

P ↓
D ↓
C ↓
A ↓

〈個別最適化に基づき教科を問わず実践していく〉

- 子ども達自身が、その時間に学習すべきめあてをとらえられるようにする。
- 全員が自分の考えをもてるように見通しをもたせ、考える時間を確保する。
- 考えを文章に表現したり、話し合ったりする場を作る。
- 本時のねらいに迫るように、話し合いをコーディネートする。
- まとめの時間をとり、学習内容の確認をする。
- 定着のための練習問題にじっくり取り組めるよう、時間を確保する。

C □□□ 単位時間のめあてのもたせ方と考える時間の確保についての調査 (毎学期)
 □□□ 話し合い・発表・表現活動の把握
 □□□ 達成基準をもとにした定着度の把握
 (全国学力学習状況調査・ふくしま学力調査・活用力育成シート・単元テストなどにより、指導状況の把握)
 (学年の系統性・指導内容の把握・単元)
 □□□ 指導方法の振り返り □□□ 単元構成の工夫
 □□□ 児童の実態に応じた指導の工夫 (全国学力・学習状況調査・ふくしま学力調査・NRT学力テスト
 単元テストの結果の確認・分析)

P ↓
D ↓
C ↓
A ↓

**〈国語・算数の習熟を図る
時間の確保と読書タイム〉**

- 朝のさわやかタイムの活用 (1回10分)
 ・国語・算数 週1回ずつ
 (ドリル・定着確認シート・活用力育成シート)
 ・読書 週1回

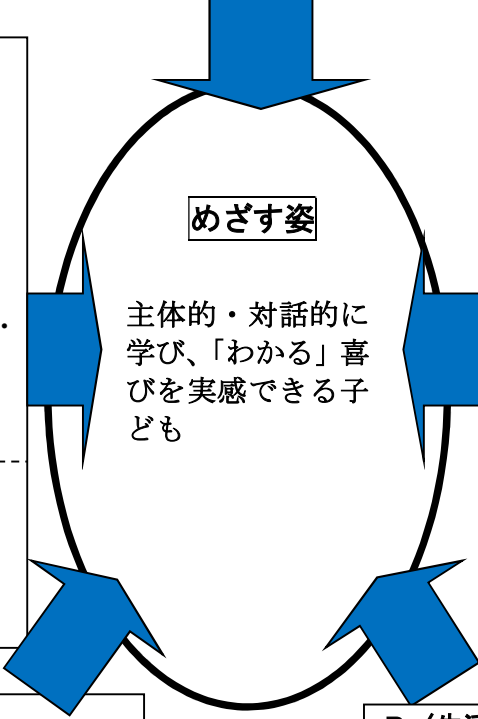
C □□□ 習熟状況の確認
 □□□ よい本の薦め
 (読書量の把握)

P ↓
D ↓
C ↓
A ↓

〈授業力の向上〉

- 児童の実態把握
- 実態に応じた授業の充実
- グランドデザインとの関連を図った現職教育の取り組み
 「話し方・聞き方のスキル」
 「算数の学び方」の活用と見直し
- 目的に応じた学習形態の工夫
 (ペア・グループ・一斉)
- 少人数教育・特別支援教育(個に応じた指導)の充実

C □□□ 「チェックシート」に反省
 (学期1回)
 □□□ 学級の反省をもとにした
 研究協議会での話し合い

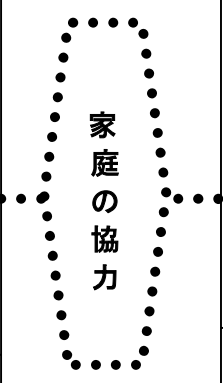


P ↓
D ↓
C ↓
A ↓

〈学びの習慣の育成〉

- 「学習の仕方」の指導をする。
 ・日常生活での学習相談
 ・定期的な学習相談
- 家庭学習の内容を工夫する。
 ・授業での学習内容につながるもの
 (定着・補充・発展・予習)
 ・興味をもった学習の支援
 ・「家庭学習の手引き」の活用
 ・保護者の協力を依頼

C □□□ 毎日の「家庭学習」の点検と助言
 □□□ 学級での状況把握
 □□□ 学校便り・学年便りの活用



P ↓
D ↓
C ↓
A ↓

〈生活習慣の確立〉

- 家庭と連携した食育の推進を図る。
- 基本的な生活習慣の形成を図る。
 ・早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき
 ・メディアコントロール (毎月15日)
 (6月・11月・2月は1週間)
 ・重点事項の指導

C □□□ 保護者会での家庭への啓発
 □□□ 学校便り・学年便り・保健便りの活用